

名都借の木

No. 41



2022年4月9日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すばる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000

巨人の肩に乗る

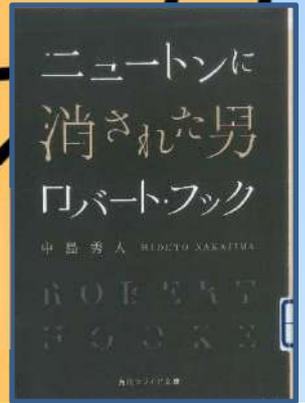
イギリスの物理学者ニュートンは、論争相手のフックと和解するとき、一通の手紙を送りました。そこにはこのような一節が書かれています。

“もし私がさらに遠くを見ることができたとするならば、それは巨人たちの肩の上に乗ったからです。”

中島秀人著「ニュートンに消された男ロバート・フック」
(KADOKAWA, 1996年刊)p258より

人々がいままで積み重ねてきた問いかけや経験を「巨人」に例えて、それらを踏まえることでその先へ行くことが出来る、その大切さを表したことはこのようです。実はこのことばも、もとをたどれば過去の偉人のものです。

木の図書館にもいろいろな「巨人」たちが、本という形でみなさんに使われるのを待っています。ちょっとしたことでも木の図書館で本を手にとって、お気軽に「巨人の肩に乗る」と、思いがけず遠くまで見渡すことが出来るかもしれません。



中島秀人著「ニュートンに消された男ロバート・フック」
(KADOKAWA, 1996年刊)

もっと大きな巨人に乗る



歌川広重「御殿山花見」
シカゴ美術館では、インターネットで、自由に使える形で公開しています。

インターネットで見ることが出来る情報は、ここ数年でどんどん増えています。いわば「巨人」がどんどん成長しているのです。インターネットで絵画や地図、博物館の展示を見たり、創作に利用できるデジタルアーカイブやバーチャルミュージアムについては、「名都借の木」第38号でご紹介しました。(インターネットで見ることが出来ます。)インターネットでの検索、閲覧は、木の図書館でご用意している貸出用PCでも出来ます。新しい時代の「巨人」にぜひ触れてみてください。

木の図書館は10周年

木の図書館は2022年4月29日に設立10周年を迎えます。小さいけれど使い勝手の良いこの「巨人」を利用するみなさんを、10年間サポートし続けてきたことは、私たち木の図書館スタッフ一同の誇りです。

利用者の方々とともにすすむ、くらしのなかにある図書館をめざして、今後もティーンズや子育て世代、高齢者や利用に不自由を感じる方々が利用しやすいように、お手伝いをさせていただきます。





本屋大賞 第2位の作品



この本もおすすめてです!



木皿 泉／著
『昨夜のカレー、明日のパン』
(河出書房新社)

～ 人はゆるやかに変化する ～

全国の本屋さんの投票によって選ばれる「本屋大賞」。毎年、大賞は言うに及ばず、ノミネート作品も、のきなみ、「予約多数」となる注目の賞です。今回は「おしくも次点」の作品達を、ご紹介します。

25歳で亡くなった一樹の嫁”テツコ”と気象予報士の”ギフ(義父)”の二人は、「悲しい中でも、幸せを感じることは出来るのだ」と、「死」を受け入れていきます。

夕暮れ時に火灯す家は、お互いの待つ、二人の帰るべき家。夫婦脚本家である作家の言葉は、時に優しく肩を抱くように、時に背中を押すように、私達に語り掛けます。



横山 秀夫／著
『64』
(文藝春秋)



小野寺 史宜／著
『ひと』
(祥伝社)



他にこんな本もあります!



本屋大賞には翻訳小説の部門があり、毎年、様々な国やジャンルの海外文学が選出されています。

本書は、寓話とノンフィクションが溶け合った森を舞台としたお話です。

ジャン＝クロード・グランペール／著
『神さまの貨物』(ポプラ社)



チームとしての勝利が優先される、プロの自転車ロードレース。疾走感とともに、プライドや駆け引きといった複雑な人間関係を背景にした上質のスポーツミステリーが味わえます。

近藤 史恵／著
『サクリファイス』新潮文庫(新潮社)

木の図書館イベント情報

4月29日の昭和の日に、木の図書館は、10回目の誕生日をむかえます。

毎年、この日には、お誕生日おはなし会を、開催しております。

0、1、2歳くらい向けの「あかちゃんおはなし会」、もうすこし、お兄さん、お姉さん向けの「おはなし会」、大人の方向けの「大人のおはなし会」の三部構成です。

もちろん、年齢制限はありませんので、どのおはなし会も参加は自由です。

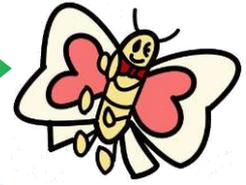
図書館スタッフによる、絵本などの読み聞かせです。お気軽に、ご参加ください。

詳細につきましては、館内ポスターなどでお知らせいたします。

皆様と一緒に、楽しい時間を過ごせますよう、図書館でお待ちしております。



子どもの木



木の図書館 バースデーおはなし会

4月29日(金・祝)で木の図書館は10さいになります！

いつものおはなし会とはちょっぴりちがう、
トクベツなおはなし会を1階ホールでおこないます。

みなさまのご参加、おまちしています♪



おたんじょうび おめでとう

今回のテーマは「おたんじょうび」！というわけで、おたんじょうびに読みたい本や紙芝居をえらんでみました。

みなさんがおたんじょうびにおすすめしたい本や紙芝居はのっているかな？
のっていなかったら、ぜひぜひスタッフにおしえてくださいね!!



波にゆれるクラゲ。
どのようにして生まれているか
見てみよう!

まだ暗い朝、台所ではやかんくん
たちがおばあちゃんのために
ごはんの準備をはじめます。



『よみきかせ いきものしゃしんえほん 33
うまれたよ! クラゲ』(岩崎書店)
武田晋一/写真 ポコヤマクリタ/構成・文

『おばあちゃんのたんじょうび』(童心社)
松居スーザン/脚本 長野ヒデ子/絵



おばあちゃんのたんじょうびに
クマくんとともだちでクッキーを
つくることに。上手にできるかな?

オオカミさんのたんじょうび。
いったい、どんな1日になるので
しょうか。



『クマくんの おめでとうクッキー』
(福音館書店)
柳生まち子/作

『オオカミさん、いまなんじ?』
(すずき出版)
デビ・グリオリ/作・絵 長友恵子/訳



連絡先
木の図書館
電話:04-7145-8000

郷土へのいざない vol. 31
～流山市を流れる大堀川の水源の一つ『こんぶくろ池』

大堀川は柏市青田付近から流山市大堀川防災調整池・駒木を通る本流と、JR 柏の葉キャンパス駅の近くにある『こんぶくろ池』を水源とする地金堀（読み方・じがねぼり = 大堀川の支流の名前）が JR 北柏駅近くで合流し手賀沼に注ぎます。

水源となる『こんぶくろ池』は古くからある湧き水池で、米づくりを生業としていたこの地域の田畑を潤し、放牧馬の飲み水や灌漑用水など地域住民に大切に守られてきた自然の湧水地です。

『こんぶくろ池』の名前の由来は、こんぶくろ（きんちゃく）形が似ているところからのようです。

18.5ha の貴重な動植物が生息する森林と、その森林を育ててきた自然の湧き水池「こんぶくろ池」「弁天池」は、現在こんぶくろ池自然博物公園として整備されています。



『こんぶくろ池』が古くからある湧き水池というのは、二つの昔ばなしがあること。他に、江戸幕府が現在の千葉県北西部に設置した軍馬育成のための放牧場の中の高田台牧の中に『こんぶくろ池』があるということが、流山市史に記載されています。



『こんぶくろ池』を取巻く森林・草地には貴重種植物が多く、池にはメダカ、森には野うさぎや狸も生息する都会近辺には珍しい環境を残した森です。国道 16 号線が近くを通っているにもかかわらず森の中は静かで、気温も低いいため、夏場はとても涼しかったです。植物の種類も豊富です。秋には色々な形のどんぐりが落ちていました。

参考資料： 流山市史 近世資料編Ⅱ 高田台牧 1 件 P112
『溜池清水覚』寛政年間（1789 年～1801 年）の資料
小袋池清水 壱ヶ所小袋池ハ夫方南青田新田御林入込同空地之内

4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

斜線は休館日 青は17:00まで開館 白はイベント

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日（祝日の場合は火曜日）
月末日（土・日・祝日を除く）
年末年始（12/29～1/4）

開館時間 火曜日～土曜日
日曜日、祝日

:9時30分～19時
:9時30分～17時